

花咲

はな
さき

国立病院機構旭川医療センターニュース 「花咲」

平成29年11月号／第68号

～わたくしたちの理念～

わたくしたちは、安全で質の高い医療を提供し、
患者さんの目線に立ち、信頼される病院をめざします。
国立病院機構の病院として、
みなさんの健康と幸福をいつも願っています。



病院正面のイルミネーション／撮影：広報委員会



| | |
|----------------------|-----|
| 第71回 国立病院総合医学会に参加して | 2 |
| 症例報告会・地域医療連携の集いを開催 | 3 |
| 防災訓練の実施について | 3 |
| 救急救命士病院実習・救急講習を行いました | 4 |
| どんぐり保育園が新しくなりました | 4・5 |
| 元気いっぱいの褥瘡対策チーム | 5 |
| 外来管理診療棟等建替工事 進捗レポート | 6 |
| ふくふく | 7 |
| がん相談支援センターより | 7 |

発行所／旭川医療センター

旭川市花咲町7丁目4048 番地

TEL (代)0166-51-3161

発行責任者／平野 史倫

ホームページ／www.asahikawa-mc.jp

(広報室より)

広報誌「花咲」は、幅広い方々に愛読されるような広報誌を目指しております。ご意見ご感想などございましたら、下記メールアドレスまでお願いいたします。

旭川医療センター広報室

E-mail renkei@asahikawa.hosp.go.jp

2017年11月10日(金)・11日(土)「道—明日へ— 国立医療の未来を拓く」として香川県サポートホール高松、他4会場で第71回 国立病院総合医学会が開催されました。当院からは16演題の発表を行い、5演題でベストポスター賞を受賞することができました。

第71回 国立病院総合医学会に参加して

3病棟 看護師 中村 麻美

当病棟に入院する脳梗塞患者への生活指導は、現在規定がなく、スタッフの力量に任されて実施されている状態でした。このような現状から一貫した指導の必要性を感じ、パンフレットを作成・使用し患者様に関わりました。その成果を「脳梗塞患者へのパンフレットを用いた生活指導の効果」というタイトルでポスター発表することとなり、11月上旬、香川県高松市で行われた第71回国立病院総合医学会に参加しました。

ポスターは紙媒体の掲示ではなく、液晶画面を通じての発表であり、どのような構成にしたら研究成果を伝えることができるのか、文章や表の選択に悩みながら、試行錯誤を繰り返し、やっと完成させることができました。制限時間内での発表は緊張の連続でしたが奇跡的にもポスター賞をいただくことができました。

学会は全国から参加する機構の職員で会場はいっぱいであり、また青色発光ダイオードの発明・開発でノーベル賞を受賞した中村修二教授の講演を聞くこともでき、貴重な時間でした。

各企業が出展するブースでは最新のナースコールやセンサー類の機能には驚き、当病棟でも使ってみたいと思うものばかりでした。

二日間の学会参加で他施設での取り組みや様々な工夫を凝らしたケアなどが行われていることを知り、非常に充実していました。参加させていただきありがとうございました。



第71回 国立病院総合医学会発表演題一覧

| 日程 | 時間 | 場所 | 発表者 | 演題名 |
|--------|---------------|-----------|---------------|--------------------------------------------------|
| 11月10日 | 11:00 ~ 11:42 | サポートホール高松 | 医師 堂下 和志 | 当院における1秒率70%未満の気腫合併肺線維症の臨床的特徴についての検討 |
| 11月10日 | 11:45 ~ 12:27 | サポートホール高松 | 医師 玉川 進 | Pleuroparenchymal fibroelastitis (PPFE、網合病)の一部検例 |
| 11月10日 | 11:45 ~ 12:27 | サポートホール高松 | 医師 中村 慧一 | 当院における肺MAC症についての検討 |
| 11月10日 | 14:20 ~ 15:08 | レクザムホール | 医師 吉田 恒佑 | 筋強直性ジストロフィー患者における虚血性脳卒中の発症頻度 |
| 11月10日 | 15:05 ~ 15:53 | サポートホール高松 | 臨床研修医 亀川 美里 | 大量胸水にて発見された腎細胞癌の胸膜転移の一例 |
| 11月10日 | 15:10 ~ 15:52 | サポートホール高松 | 治験主任 三上 祥博 | 治験管理室の活動状況と業務の効率化について |
| 11月10日 | 15:10 ~ 15:58 | サポートホール高松 | 看護師 中村 麻美 | 脳梗塞患者へのパンフレットを用いた生活指導の効果 |
| 11月10日 | 16:00 ~ 16:42 | レクザムホール | 臨床研修医 山本安里紗 | シェーグレン症候群に伴う神経症候の検討 |
| 11月10日 | 16:00 ~ 16:48 | サポートホール高松 | 特殊撮影主任 越智 隆浩 | 嚥下造影検査時の被曝軽減について |
| 11月11日 | 9:15 ~ 10:03 | レクザムホール | 薬剤師 佐藤まりか | 当院におけるEGFR-TKI副作用マネジメントについての取り組み |
| 11月11日 | 10:00 ~ 10:42 | レクザムホール | 看護師 佐々 あき | 生物学的製剤自己注射指導の現状調査～患者の求める指導を目指して～ |
| 11月11日 | 10:05 ~ 10:53 | レクザムホール | 薬剤師 河田 清志 | 病薬連携を利用した吸入指導連携パスの構築と運用 第2報 |
| 11月11日 | 13:10 ~ 13:58 | レクザムホール | 理学療法士 杉本 健 | パーキンソン病患者の10m歩行における歩行周期変動と転倒との関連 |
| 11月11日 | 14:00 ~ 14:48 | サポートホール高松 | 臨床研修医 岩崎 大知 | 特異な進展様式を呈した盲腸原発神経内分泌癌の1例 |
| 11月11日 | 14:00 ~ 15:00 | サポートホール高松 | 遺伝子研究室長 横浜 吏郎 | 当院における肝癌サーベイランスの課題と適正化を目指した取り組み |
| 11月11日 | 15:40 ~ 16:28 | レクザムホール | 看護師長 大塚 央子 | 褥瘡予防に関する看護師の意識調査～意識改善に向けてのリンクナースの活動を実施して～ |

症例報告会・地域医療連携の集いを開催

地域医療連携室 MSW 長尾 明香

11月13日(月)第300回症例報告会・地域医療連携の集いがアートホテル旭川において行われました。玉川 進臨床検査部長より「突然死した2例の剖検報告」、黒田 健司 脳神経内科部長より「当院脳ドックの現状(第2報)」症例報告がありました。

地域医療連携の集いでは、当院の職員を含め約100名近い参加があり、地域の医療機関の皆様をはじめ、地域包括支援センターや地域医療連携室の実務者の方など日頃からお世話になっている関係機関の方々と意見交換や懇親を深める良い機会となりました。次回は来年の夏頃の開催を予定しています。



防災訓練の実施について

庶務班長 樋口 善秀

今回の防災訓練(地震、火災)は、夜間を想定し11月21日(火)に実施しました。

地震訓練は、旭川市内に震度6強の地震が発生した想定で実施しました。当直師長が被災状況の確認の為、各病棟を全速力で確認に回り災害対策本部へ報告し、その他の部門においても、災害対策本部に被災状況を報告する訓練を実施しました。

その後の火災訓練は、地震の影響で2病棟洗濯室から火災が発生した想定で実施し、消火班による屋内消火活動、模擬患者を避難場所まで誘導する訓練と宿舎入居者が連絡を受け駆けつける訓練を実施しました。

今回、初めての夜間想定訓練であり限られた人数での訓練の為、病棟リーダーの的確な指示、各担当者の役割の重要性を再認識しました。今後も訓練を重ね、万が一の場合も即座に対応できるよう常に防災意識を心がけていきます。



救急救命士病院実習・救急講習を行いました

地域医療連携室 副看護師長 佐々木亜万里

10月に救急救命士12名の病院実習の受け入れを行いました。救急現場に従事する救急救命士の再教育の一環として、病院実習の受け入れは、5年目となります。

今年度は、外来診療の見学や、救急車で搬送時から入院されるまでの対応の様子、レントゲンやCT検査への移送介助、感染管理認定看護師から感染対策についての講義、JMECC（日本内科学会認定内科救急・ICLS講習会）インストラクターの呼吸器内科の鈴木北斗医師から、心停止時のみならず、緊急を要する急病者に対応についての講義を行っていただきました。講義を受けた救急救命士からは、「症状の特徴や観察点、注意すべき事などわかり易かった。」「救急搬送で、かけつけた時に講義で学んだことを活かしていきたい。」という感想も聞かれました。

また、救急救命士が主体となって、院内の職員や看護学生を対象に救急講習も行ってもらいました。旭川市消防本部では、現在14台の救急車が活動中（上川町2台、鷹栖町1台含）であることや旭川市の救急概況について話があり、BLS（一次救命処置）とAED（自動体外式除細動器）の使用方法について説明を受けながら指導してもらいました。モデル人形を使用し胸骨圧迫の方法やAEDの操作手順など実際に実演も行いました。体験した職員の中には、「心臓マッサージという言葉は、知っているが方法が分からなかったので勉強になった。」「いざという時に対応できるように方法を知ることが出来て良かった。」などの感想が聞かれました。今後も救急救命士の実習を受け入れていくにあたり、実習が充実できるように当院で経験できる内容を検討していきたいと思えます。



どんぐり保育園が新しくなりました

園長 尾村 智子



新園舎が完成し、引っ越しが無事済み、11月20日(月)より新たな空間での生活が始まりました。以前の園舎とはガラッと変わった空間に、子どもたちがどのような反応を示すのかと思っていましたが、子どもたちの順応性は早く、新しい生活の仕方や決まりを身につけています。大きい子たちは初日に新園舎を探検。新しい空間にワクワク・ドキドキといった表情を見せていました。小さい子のなかには戸惑いを感じ不安そうな子もいましたが、同じ顔ぶれの保育士や友だちがそばにいて安心して

過ごせるようになりました。子どもは大人が思っているよりも、柔軟に新しい環境に慣れていくことを改めて感じさせられました。

国立病院で初めての保育所として1954年10月にどんぐり保育園が誕生してから今年で63年。以前の園舎には30年以上を過ごした歴史があり、たくさんのおともたちの思い出が詰まっていた。これからは新しい園舎で思い出を作っていきたいとします。

これからも、おともたちの姿が「明るく・楽しく・元気よく」笑顔あふれる園であり続けられるよう、ご支援をくださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



元気いっぱいの褥瘡対策チーム～地域の方と学習会の交流をしています～

褥瘡対策チーム 中材・手術室 看護師長 **大塚 央子**

褥瘡対策チームは、褥瘡専任医師1名、褥瘡専任看護師10名、薬剤師1名、管理栄養士1名、理学療法士2名、外科医師1名でチームを組んで活動をしています。

活動の一つとして、学習会の企画がありますが、近隣の施設等のスタッフの方を当院に招いて、病院内で一緒に楽しく学習会を開催しています。学習会は、学習会後のアンケートの要望の多かったテーマをもとに企画しています。平成28年度は「ポジショニングとシーティング」(7月)「できてしまった褥瘡のケア」(11月)今年度は「褥瘡モデルを使ってケアの基本を学ぼう」(7月)「褥瘡とリハビリテーションについて」(11月)を行いました。今回は、体験型の学習会を開催し、院内外から約50名の参加がありました。学習会後のアンケートでは、「体験でき大変参考になりました」「関節可動域訓練が良かったです」などの感想をいただき チーム一同活動の励みとなっています。また次回の学習会のテーマとして「体圧分散」「予防ケア」「栄養管理」「スキンケア」など多数の御意見がありましたので、今後の参考にさせていただきます。貴施設内での学習会など御要望があれば、出前教室も行っていきたくと思っています。今後ともよろしくお願ひ致します。

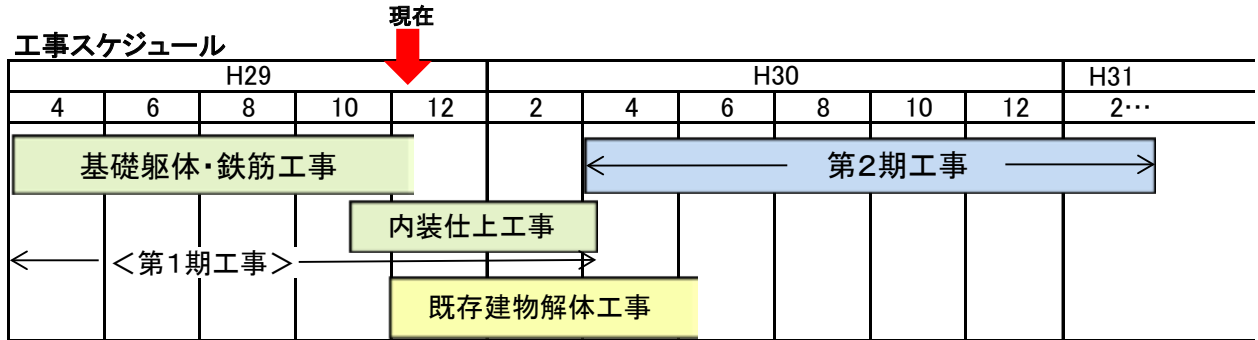


外来管理診療棟等建替工事 進捗レポート

経営企画係長 森川 直彦

11月に入り、朝夕の寒さが身にしみる季節となりました。

建替工事は順調に進んでおります。今月から内装工事が始まり、12月開始の建物解体工事（旧看護学校等）と併せて春まで続く予定です。（工事部分は、放射線、栄養、検査といったコメディカル部分やボイラー等のサービス部門で、図面のオレンジ色部分です。工事は全体で3期まであり、現在1期工事の段階です。）



ふくふく

認定看護師について

4病棟 副看護師長 渡辺 麻美

朝夕冷え込む季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。9月号でご紹介いただいたとおり、私はがん化学療法看護認定看護師として活動しております。

近年のがん化学療法のトピックスとしては、曝露対策があります。抗がん剤はがんを患っている患者さんには大変有益な薬ですが、抗がん剤を取り扱う医療者が注意を要しなければならないことがあり、薬剤師や医師とも協働しながら抗がん剤を安全に取り扱うことができるよう日々検討を重ねています。

がん化学療法を受けている患者さんやそのご家族の日常生活が穏やかに過ごせますようご相談に乗りますので、よろしくお願いいたします。



がん相談支援センターより

がん性疼痛看護認定看護師 大坪 聡織

10月13日（金）に緩和ケアチーム主催「カバーメイク勉強会」を行いました。がん患者さんの外見ケア（アピアランスケア）が少しずつ広がってきている中で、私たちが勉強しようということで昨年頃から考えていましたが、ようやく今回開催することができました。

がん患者さんの中には化学療法に伴う皮膚の変色（シミやあざなど）や、色素脱失（白斑など）で困っている方もいらっしゃるかと思います。今回はこのようなシミなどをどのようにすればメイクでカバーできるかを、マーシュ・フィールド株式会社の村岡さんに東京からお越しいただき、実技を交えてご指導いただきました。一言で「シミやあざ」と言っても、



元々の肌の色やシミやあざの色で下地やファンデーションの色味を考えなければならず、その色合わせが難しいと実感しました。実際に私も自分の肌で試してみましたが、何色か混ぜ合わせて色を作ることが難しく、また下地とファンデーションの塗り方にもコツが必要で、これを習得するには少し時間が必要と

感じました。



私たち医療スタッフがカバーメイクを知ることで患者さんや家族に情報提供をすることができるのではないかと考えて始めた企画ですので、まずは私の「シミ隠し」のお化粧が上達すればいいな…と考えているところです。何か外見ケアでお困りのことがありましたら、まずはがん相談支援センターにご相談ください。

外来担当医表

受付時間 午前8時30分から午前11時30分まで 〔 再来受付機は午前8時。
※当院の再来受付は予約制（小児科を除く）となっています。 〕
 ※この予定表は都合により変更となる場合がございますので、ご了承願います。 平成29年9月1日現在

| 診療科別 | | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|---------------------------------------------|---------------------------------|------------------------------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|--------------------------------------------|
| 呼吸器内科 | 診察室⑤ | 高橋 政明 | 黒田 光 | 山崎 泰宏 | 鈴木 北斗 | 山崎 泰宏 |
| | 診察室⑥ | 藤田 結花 | 堂下 和志 | 黒田 光 | 藤田 結花 | 高橋 政明 |
| | 診察室⑦ | 堂下 和志 | 辻 忠克 | 藤兼 俊明 | 藤兼 俊明 | 辻 忠克 |
| | 疾患センター外来 COPD (慢性閉塞性肺疾患) | | 副センター長 黒田 光 診察室⑤ | センター長 山崎 泰宏 診察室⑤ | | |
| | 午後診療 13:00～14:00 (予約診療のみ) | | (新患) 禁煙外来 (予約制) | | | |
| 脳神経内科 | 診察室③ | (再来) 黒田 健司 | (新患) 鈴木 康博 | (新患) 新患担当医 | (新患) 黒田 健司 | (再来) 鈴木 康博 |
| | 診察室④ | (新患) 木村 隆 | (再来) 木村 隆 | (新患) 油川 陽子 | (再来) 木村 隆 | (新患) 吉田 亘佑 |
| | 診察室⑫ | | (再来) 油川 陽子 | | (再来) 吉田 亘佑 | |
| | 診察室⑨ | 物忘れ外来 (予約制) | | | | |
| | 午後診療 (予約診療のみ) | | (再来) 野村 健太 診察室③ | | (再来) 岸 秀昭 診察室③ | (再来) 黒田 健司 診察室③ (再来) 坂下 建人 |
| | 疾患センター外来 パーキンソン病 | センター長 木村 隆 診察室④ | | | | |
| 消化器内科 | 診察室① | (再来) 斉藤 裕樹 | (再来) 高添 愛 | 糖尿病(新患・再来) 柏谷 朋 | (新患・再来) 斉藤 裕樹 | (新患・再来) 高添 愛 |
| | 診察室② | リウマチ(新患・再来) 平野 史倫 | リウマチ(新・再) 平野 史倫 | (再来) 西村 英夫 | 糖尿病(再来) 柏谷 朋 | (再来) 西村 英夫 |
| | 診察室⑫ | (新患・再来) 横浜 史郎 | | | | リウマチ(再来) 平野 史倫 |
| | 特殊外来 | (甲状腺) 平野 史倫 診察室② | | (リウマチ・骨粗鬆症) 平野 史倫 診察室⑨ | | |
| | 疾患センター外来 糖尿病・リウマチ | センター長(リウマチ) 平野 史倫 診察室② | センター長(リウマチ) 平野 史倫 診察室② | 副センター長(糖尿病) 柏谷 朋 診察室① | 副センター長(糖尿病) 柏谷 朋 診察室② | センター長(リウマチ) 平野 史倫 診察室⑫ |
| 循環器内科 | 診察室⑧ | 石田 紀子 | 藤井 聡 | 石田 紀子 | 石田 紀子 | 出張医 |
| 総合内科 受付13:30～15:00 紹介ありの場合 16:00まで | 午前診療 | | | (再来) 安尾 和裕 診察室⑫ | (新患・再来) 横浜 史郎 診察室⑨ | (新患・再来) 安尾 和裕 診察室⑨ |
| | 午後診療 診察室⑤ | (新患・再来) 安尾 和裕 | (新患・再来) 安尾 和裕 | (新患・再来) 辻 忠克 | (新患・再来) 安尾 和裕 | |

※月曜日の物忘れ外来は予約診療となり、脳神経内科の医師が輪番で行います。

| 診療科別 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | |
|-------------|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 小児科 一般外来 | 午前 | 診療援助 診察室① | 診療援助 診察室② | 診療援助 診察室① | 診療援助 診察室② | 診療援助 診察室① |
| | 午後 | 診療援助 診察室① | 診療援助 診察室② | | 診療援助 診察室② | |

※小児科一般外来午後の受付時間は、午後1時30分から午後4時となっております。

| 診療科別 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|---------------|-----|-----|--------------|--------------|-----|
| 小児科 発達神経外来 | 午前 | | 長 和彦 診察室① | 長 和彦 診察室① | |
| | 午後 | | 長 和彦 診察室① | 長 和彦 診察室① | |

※小児科発達神経外来は初診・再診とも完全予約制となっております。

| 診療科別 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|------|------|-------|-----------------|-----|------|
| 外科 | 診察室① | 渡邊 一教 | 永瀬 厚 (完全予約制) | | 本望 聡 |
| | 診察室② | 青木 裕之 | | | 前田 敦 |
| | 透析 | 透析 | | 透析 | 透析 |

※外科は火、水、木曜日は手術日です。

| 診療科別 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 |
|----------|---------|------|-----|------|-----|
| 放射線科(治療) | 放射線科診察室 | 宮野 卓 | | 宮野 卓 | |

予約変更、問い合わせについて

予約変更、予約内容の問い合わせは午後2時～午後4時30分の間をお願いします。

☎ 0166-51-3161